

**●株主メモ**

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで  
定時株主総会 毎年8月  
基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日  
期末配当の基準日 毎年5月31日  
なお、中間配当を実施するときの基準日は11月30日です。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
TEL 0120-78-2031（フリーダイヤル）

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

単元株式数 100株  
証券コード 3321  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部  
公告方法 電子公告を当社ホームページにて行います。  
やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、公告いたします。  
公告掲載アドレス（<http://www.mitachi.co.jp/ir/ir-official.htm>）

お知らせ 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な  
各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付し  
ております。



株主の皆様へ

## 第31期は売上・利益ともに 過去最高を更新



代表取締役社長  
橋 至朗

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは今“第二の創業期”として、まさにダイナミックな変革の時を迎えており、その変革期を乗り切る羅針盤として昨年7月に3ヶ年の中期経営計画「Mitachi Vision 2008」を策定し発表させていただきました。そして、その初年度にあたる第31期は、おかげさまで過去最高の売上と利益を計上し、予想を上回る順調なスタートを切ることができました。

当社グループは次なるステージへの飛躍を目指し、「お客様の抱える様々な問題を解決したい」という創業の原点に再度たちかえり、新しいビジネスモデルおよび新たな商材の開拓を積極的に図っていきたいと考えております。

また中期経営計画2年目にあたる第32期につきましても“2010年5月期 連結売上高550億円”の達成を展望し、全社一丸となって着実に課題を乗り越え、株主様にとりましても、より魅力溢れる会社にするよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ミタチの経営理念が凝縮された シンボルマーク



当社のシンボルマークは、ミタチの頭文字でもある「M」と、「ガールの水道橋」のアーチの形をモチーフにして生まれました。

ミタチの社名は「三つ（お客様、仕入先様、当社）で立つ」という三位一体の精神に由来しております。そして、「ガールの水道橋」は、ローマ帝国の時代に生命をつなぐ水を運ぶという大きな使命を果たしました。2000年の時を超えて存在し続ける

この橋のように、「いつまでもお客様と仕入先様をつなぐ架け橋でありたい」と願う当社の経営理念が、このシンボルマークに凝縮されています。

### ミ ガールの水道橋について

紀元前120年頃、ローマ軍が植民地として建都したネームに豊かなローマの生活を持ち込もうとした時、まず必要となったのが水でありました。そこで、水を重要視したローマ人は聖なる泉といわれていたユゼスにあるユールの泉を源泉に選びました。泉からネームまでは直線距離およそ20kmにすぎませんでしたが、自然の障害物に阻まれ、水を流すために正確な工事が要求されました。幾多の困難を乗り越え、建設された水道の全長は最終的におよそ50kmにも及びました。その水道の一部として、南フランスを流れるガルド川に架けられた橋が、「ガールの水道橋」であります。

(出典：「ボン・デュ・ガール ローマ時代の水道橋」 日本語版)





## 事業の状況

### <全般的概況>

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移するなか、設備投資も引き続き増加しており個人消費は底堅く推移するなど、総じて景気は緩やかに拡大してまいりました。

このような経済状況のなか、当社主要取引先である自動車業界につきましては、カーナビゲーション向け商材を中心に堅調に推移いたしました。アミューズメント業界につきましても、得意先の好調を受け、半導体および電子部品の販売が好調に推移し、液晶の販売も回復いたしました。また、その他の業界につきましては、光半導体の受託生産や工作機械向け組付けなどの売上が拡大いたしました。

その結果、当連結会計年度の連結売上高は346億1百万円（前期比36.3%増）、利益につきましては営業力強化に伴う人材拡充等により経費負担が増加したものの、営業利益では9億76百万円（前期比36.7%増）、経常利益では11億4百万円（前期比37.5%増）、当期純利益では6億20百万円（前期比30.8%増）となりました。

### <部門別概況>

#### デバイス部門

デバイス部門につきましては、カーナビゲーション用ハードディスクの販売が好調に推移いたしました。またアミューズメント業界向けの液晶販売が回復したほか、半導体や電子部品など全般的に販売が堅調に推移いたしました。その結果、デバイス部門の売上高は239億27百万円（前期比37.0%増）となりました。

#### 海外部門

海外部門につきましては、連結子会社「M.A.TECHNOLOGY,INC.」における光半導体の生産増加などにより、売上高は50億75百万円（前期比40.9%増）となりました。

#### ソリューション部門

ソリューション部門につきましては、工作機械向けおよびカーナビゲーション向けの組付け受注が増加し、売上高は45億75百万円（前期比29.7%増）となりました。

#### その他部門

その他部門につきましては、自動車業界向け産業機器の受注増などにより、売上高は10億23百万円（前期比30.4%増）となりました。

### <対処すべき課題>

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、「安全」「環境」「情報」「快適」の4つが求められておりますが、いずれもカーエレクトロニクスのさらなる伸展なくして実現できるものではありません。

また、アミューズメント業界におきましては、業界環境としては厳しさを増しつつあるものの、高品位電子部品の搭載など、遊技機各ユニットにおける電子部品需要はむしろ旺盛となっております。

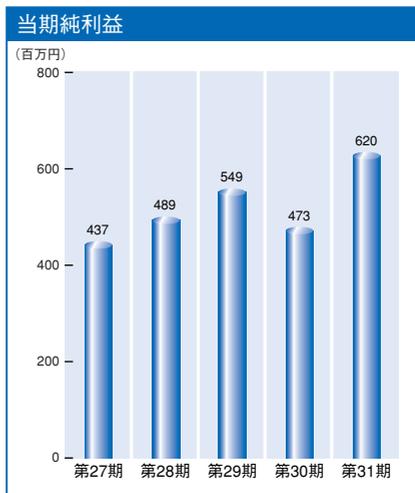
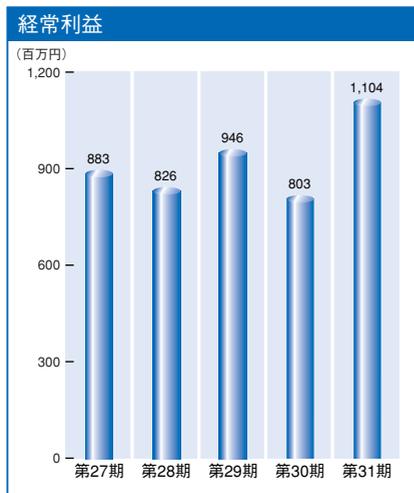
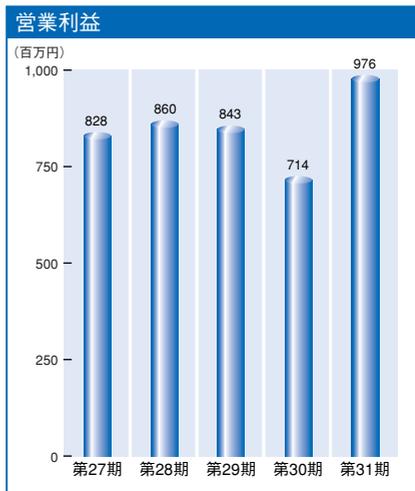
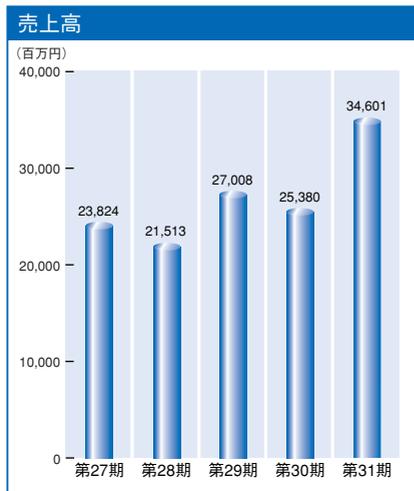
その他の業界におきましても光源市場などをはじめ、今後様々な変動が予想され、電子部品を取り巻く環境は、まさに一大変革期を迎えようとしております。

このような状況のもと、当社グループは「お客様の満足が当社の繁栄に繋がる」をモットーに顧客第一主義を掲げており、お客様とともに問題を解決できるソリューションカンパニーを目指しております。また平成19年5月期を初年度とする中期経営計画「Mitachi Vision 2008」を策定し、次の重点経営施策を掲げて継続的な発展を推進してまいります。

- ・電子化が拡大すると期待される自動車業界への営業力を今後も継続して強化してまいります。  
得意先開発部門へ密着し、得意先の製品企画情報の取得精度向上を図り、ハイブリッドカー用駆動・発電モーター、カーナビゲーション用ハードディスクに続く次期重点商材を開拓してまいります。
- ・従来の国内メーカーに加え、台湾メーカーを主とする海外製品など取扱商品の積極的な拡充を図り、より幅広い顧客ニーズに 대응していきたいと考えております。
- ・アセンブリ事業を拡大させるとともに技術対応力、品質管理体制の強化により、同業他社との差別化を図ります。
- ・新規商材の確保、技術への対応等を図るために、優れた商品、マーケットあるいは技術を有する部材メーカー、商社等への投資を行ってまいります。
- ・営業利益重視の姿勢を明確化し、売上高・売上総利益の増大に努めると同時に業務改革を推進し、低コスト経営の実現を図ります。業務の全体最適化実現に向けた情報化推進と海外子会社を含めた業務の見直しを積極的に行ってまいります。
- ・外部環境の変化に対応するための体制構築手段として、M&Aを戦略的に展開してまいります。
- ・グループ内の連携強化、情報の共有化を主たる目的として、組織の見直しと活性化を図ってまいります。



## 財務ハイライト (連結)



## 業種別・品目別・部門別 連結売上高

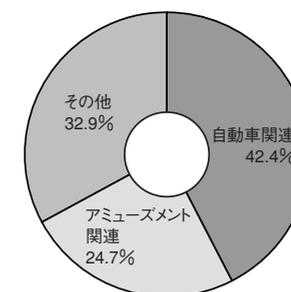
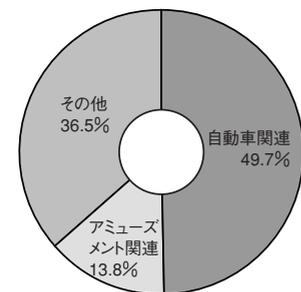
### ●業種別連結売上高

(単位：百万円)

業 種	期		前 期 比
	平成18年5月期 ( ) 内は構成比	平成19年5月期 ( ) 内は構成比	
自 動 車 関 連	12,628 (49.7%)	14,663 (42.4%)	116.1%
アミューズメント関連	3,494 (13.8%)	8,563 (24.7%)	245.0%
そ の 他	9,257 (36.5%)	11,375 (32.9%)	122.9%
合 計	25,380 (100.0%)	34,601 (100.0%)	136.3%

平成18年5月期

平成19年5月期





●品目別連結売上高

(単位：百万円)

品目	期 平成18年5月期 ( )内は構成比	平成19年5月期 ( )内は構成比	前 期 比
半 導 体	9,309 (36.7%)	11,397 (33.0%)	122.4%
液 晶	1,683 (6.6%)	3,701 (10.7%)	219.8%
電 子 部 品	3,538 (13.9%)	5,058 (14.6%)	142.9%
ユニット・アセンブリ	7,096 (28.0%)	9,765 (28.2%)	137.6%
そ の 他	3,751 (14.8%)	4,679 (13.5%)	124.7%
合 計	25,380 (100.0%)	34,601 (100.0%)	136.3%

●部門別連結売上高

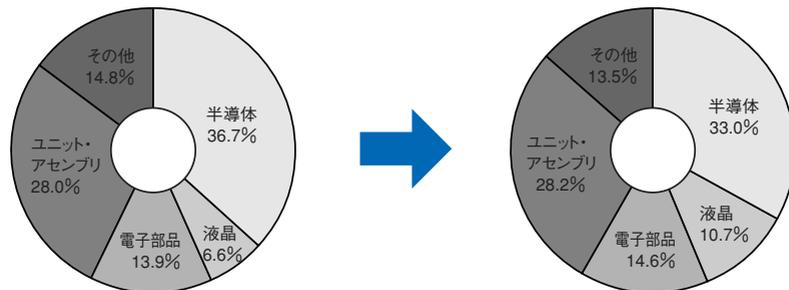
(単位：百万円)

部 門	期 平成18年5月期 ( )内は構成比	平成19年5月期 ( )内は構成比	前 期 比
デ バ イ ス 部 門	17,465 (68.8%)	23,927 (69.1%)	137.0%
海 外 部 門	3,601 (14.2%)	5,075 (14.7%)	140.9%
ソ リ ュ ー シ ョ ン 部 門	3,528 (13.9%)	4,575 (13.2%)	129.7%
そ の 他 部 門	785 (3.1%)	1,023 (3.0%)	130.4%
合 計	25,380 (100.0%)	34,601 (100.0%)	136.3%

(注) 海外部門は主に海外連結子会社における光半導体の受託製造販売事業であります。

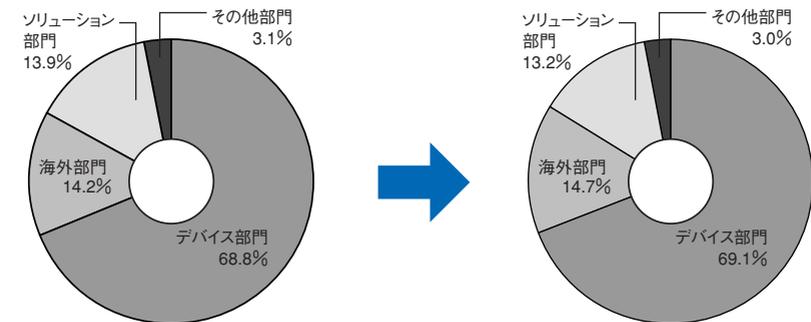
平成18年5月期

平成19年5月期



平成18年5月期

平成19年5月期





## 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表（平成19年5月31日現在）

(単位：千円)

資産の部	
流動資産	12,928,330
現金及び預金	1,292,617
受取手形及び売掛金	8,495,221
たな卸資産	2,808,911
繰延税金資産	77,640
未収還付消費税等	192,805
その他の流動資産	70,785
貸倒引当金	△9,652
固定資産	1,843,556
有形固定資産	1,245,412
建物及び構築物	651,712
機械装置及び運搬具	43,181
土地	482,205
建設仮勘定	7,806
その他の有形固定資産	60,506
無形固定資産	150,836
投資その他の資産	447,307
投資有価証券	176,223
差入保証金	262,106
繰延税金資産	1,845
その他の投資その他の資産	13,011
貸倒引当金	△5,879
資産合計	14,771,886

負債の部	
流動負債	9,352,780
支払手形及び買掛金	6,401,400
短期借入金	2,246,173
1年以内返済予定の長期借入金	39,467
未払法人税等	346,878
賞与引当金	100,745
役員賞与引当金	23,670
その他の流動負債	194,446
固定負債	662,680
長期借入金	500,000
繰延税金負債	14,898
負ののれん	87,134
その他の固定負債	60,647
負債合計	10,015,461
純資産の部	
株主資本	4,645,820
資本金	521,600
資本剰余金	572,400
利益剰余金	3,551,871
自己株式	△51
評価・換算差額等	106,949
その他有価証券評価差額金	17,180
為替換算調整勘定	89,769
少数株主持分	3,654
純資産合計	4,756,425
負債及び純資産合計	14,771,886



■連結損益計算書（平成18年6月1日から平成19年5月31日まで）（単位：千円）

科 目	金 額
売 上 高	34,601,980
売 上 原 価	31,367,706
売 上 総 利 益	3,234,273
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,257,879
営 業 利 益	976,394
営 業 外 収 益	169,432
受 取 利 息	7,077
受 取 配 当 金	1,633
仕 入 割 引	54,400
受 取 家 賃	51,108
負 の の れ ん 償 却 費	21,783
為 替 差 益	24,243
そ の 他	9,186
営 業 外 費 用	40,855
支 払 利 息	22,605
フ ァ ク タ リ ン グ 料	4,097
売 上 割 引	12,182
そ の 他	1,969
経 常 利 益	1,104,972
特 別 利 益	16,978
投 資 有 価 証 券 売 却 益	711
未 払 賃 借 料 戻 入 益	16,266
特 別 損 失	16,379
固 定 資 産 除 却 損	645
会 員 権 評 価 損	9,300
災 害 損 失	6,433
税金等調整前当期純利益	1,105,571
法人税、住民税及び事業税	508,865
法人税等調整額	△22,688
少数株主利益（△：損失）	△659
当 期 純 利 益	620,054

■連結株主資本等変動計算書（平成18年6月1日から平成19年5月31日まで）（単位：千円）

	株 主 資 本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成18年5月31日 残高	521,600	572,400	3,132,588	-	4,226,588
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当（注）			△91,875		△91,875
剰余金の配当			△91,875		△91,875
当期純利益			620,054		620,054
自己株式の取得				△51	△51
連結子会社の増加に伴う減少額			△17,021		△17,021
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	419,282	△51	419,231
平成19年5月31日 残高	521,600	572,400	3,551,871	△51	4,645,820

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等 合計		
平成18年5月31日 残高	10,246	79,274	89,521	4,299	4,320,409
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当（注）					△91,875
剰余金の配当					△91,875
当期純利益					620,054
自己株式の取得					△51
連結子会社の増加に伴う減少額					△17,021
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	6,933	10,494	17,428	△644	16,784
連結会計年度中の変動額合計	6,933	10,494	17,428	△644	436,015
平成19年5月31日 残高	17,180	89,769	106,949	3,654	4,756,425

（注）平成18年8月の定時株主総会における利益処分項目であります。

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨（単位：千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△399,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	614,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,253
現金及び現金同等物の増減額（△：減少）	△3,478
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,888
子会社の新規連結による現金及び現金同等物の増加額	103,950
現金及び現金同等物の期末残高	1,257,360



単体財務諸表

■貸借対照表（平成19年5月31日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>12,442,253</b>	<b>流動負債</b>	<b>9,149,925</b>
現金及び預金	938,206	支払手形	793,454
受取手形	1,050,458	買掛金	5,506,793
売掛金	7,399,238	短期借入金	2,200,000
商品	2,587,807	1年以内返済予定の長期借入金	39,467
貯蔵品	1,506	未払金	95,454
前払費用	23,949	未払費用	27,131
繰延税金資産	77,708	未払法人税等	333,800
短期貸付金	70,000	前受金	11,910
1年以内回収予定の長期貸付金	54,808	賞与引当金	98,000
未収還付消費税等	192,805	役員賞与引当金	23,670
その他の流動資産	55,483	その他の流動負債	20,243
貸倒引当金	△9,719	<b>固定負債</b>	<b>542,459</b>
<b>固定資産</b>	<b>1,963,490</b>	長期借入金	500,000
<b>有形固定資産</b>	<b>766,602</b>	預り保証金	37,492
建物	265,225	繰延税金負債	4,967
構築物	2,734	<b>負債合計</b>	<b>9,692,385</b>
車両運搬具	2,308	<b>純資産の部</b>	
工具器具備品	51,728	株主資本	4,698,642
土地	441,410	資本金	521,600
建設仮勘定	3,195	資本剰余金	572,400
<b>無形固定資産</b>	<b>149,848</b>	資本準備金	572,400
のれん	6,379	利益剰余金	3,604,693
借地権	38,578	利益準備金	12,500
ソフトウェア	98,339	その他利益剰余金	3,592,193
ソフトウェア仮勘定	3,800	別途積立金	2,830,000
その他の無形固定資産	2,751	繰越利益剰余金	762,193
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,047,039</b>	自己株式	△51
投資有価証券	146,565	評価・換算差額等	14,716
関係会社株式	420,023	その他有価証券評価差額金	14,716
関係会社出資金	55,795	<b>純資産合計</b>	<b>4,713,359</b>
長期貸付金	166,033	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>14,405,744</b>
長期前払費用	298		
差入保証金	255,615		
その他の投資その他の資産	2,775		
貸倒引当金	△66		
<b>資産合計</b>	<b>14,405,744</b>		

■損益計算書（平成18年6月1日から平成19年5月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額
売上高	33,440,230
売上原価	30,554,293
売上総利益	2,885,937
販売費及び一般管理費	1,917,879
営業利益	968,058
営業外収益	156,686
受取利息	16,459
受取配当金	1,087
仕入割引	54,400
受取家賃	51,108
為替差益	27,130
その他	6,501
営業外費用	35,987
支払利息	19,477
ファクタリング料	4,097
売上割引	12,182
その他	228
経常利益	1,088,757
特別損失	9,736
固定資産売却損	367
固定資産除却損	68
会員権評価損	9,300
税引前当期純利益	1,079,021
法人税、住民税及び事業税	492,137
法人税等調整額	△21,159
当期純利益	608,043



## 経営トピックス

### ■株主資本等変動計算書（平成18年6月1日から平成19年5月31日まで）（単位：千円）

	株 主 資 本							自 己 株 式	株主資本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利 益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
平成18年5月31日 残高	521,600	572,400	572,400	12,500	2,530,000	637,900	3,180,400	-	4,274,400
事業年度中の変動額									
別途積立金の積立					300,000	△300,000	-		-
剰余金の配当（注）						△91,875	△91,875		△91,875
剰余金の配当						△91,875	△91,875		△91,875
当期純利益						608,043	608,043		608,043
自己株式の取得								△51	△51
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）									-
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	300,000	124,293	424,293	△51	424,241
平成19年5月31日 残高	521,600	572,400	572,400	12,500	2,830,000	762,193	3,604,693	△51	4,698,642

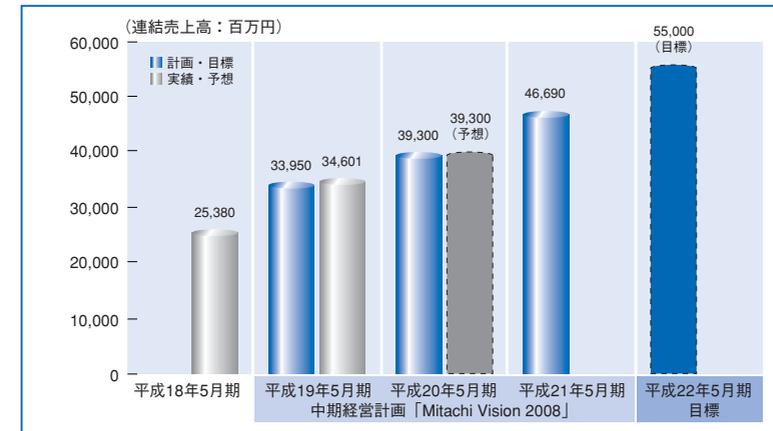
	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年5月31日 残高	10,246	10,246	4,284,647
事業年度中の変動額			
別途積立金の積立	-	-	-
剰余金の配当（注）	-	△91,875	△91,875
剰余金の配当	-	△91,875	△91,875
当期純利益	-	608,043	608,043
自己株式の取得	-	-	△51
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	4,469	4,469	4,469
事業年度中の変動額合計	4,469	4,469	428,711
平成19年5月31日 残高	14,716	14,716	4,713,359

（注）平成18年8月の定時株主総会における利益処分項目であります。

### ■中期経営計画 初年度は順調なスタート

当社グループは平成18年7月に3ヶ年の中期経営計画「Mitachi Vision 2008」を策定いたしました。その初年度にあたる平成19年5月期は、計画対比で売上高101.9%、営業利益119.1%、経常利益128.5%の実績となり、順調なスタートを切ることができました。

当社グループは“2010年（平成22年）5月期 連結売上高550億円”を目標として掲げており、その達成に向け、引き続きこの中期経営計画の着実な遂行を図ってまいります。



### ■自社開発製品 多機能情報モニタ「MIU FACE」の販売開始

当社は自社開発製品の多機能情報モニタ「MIU FACE」の販売を、平成19年4月より開始いたしました。

同年5月には「ESEC（組込みシステム開発技術展）」への出展も行い、既に様々な引き合いをいただいております。

また今後とも積極的な営業活動を展開し、さらなる拡販を図ってまいります。





●会社の状況（平成19年5月31日現在）

会社名 ミタチ産業株式会社  
 本社所在地 名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号  
 設立年月日 昭和51年7月2日  
 資本金 5億2,160万円  
 従業員数 688名（連結）  
 141名（単体）

取締役および監査役

代表取締役社長 橘 至 朗  
 専務取締役 井 上 銀 二  
 常務取締役 毛 利 忠 年  
 取締役 伊藤 洋  
 取締役 堀 江 義 宏  
 取締役 熊 谷 豊  
 取締役 奥 村 浩 文  
 取締役 片 桐 英 正  
 常勤監査役 西 山 重 二  
 監査役 清 水 哲 助  
 監査役 安 藤 憲 助

●株式の状況（平成19年5月31日現在）

発行可能株式総数 16,000,000株  
 発行済株式の総数 7,350,000株  
 株主数 3,477名  
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	株	%
橘 至 朗	1,490,000	20.27
井 上 銀 二	450,000	6.12
橘 和 博	400,000	5.44
ミタチ産業従業員持株会	368,250	5.01
橘 地 平 子	350,000	4.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	250,000	3.40
岩 成 一 郎	165,000	2.24
山 内 昭 雄	165,000	2.24
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	149,900	2.03
野 中 勤	110,000	1.49

（注）出資比率は自己株式（50株）を控除して計算しております。

●事業所（平成19年5月31日現在）

本社：名古屋市中区  
 営業拠点：愛知県岡崎市、東京都新宿区、大阪市中央区

●連結子会社（平成19年5月31日現在）

（国内1社）

大洋電機株式会社

（海外4社）

M.A.TECHNOLOGY,INC.

美達奇（香港）有限公司

台湾美達旗股份有限公司

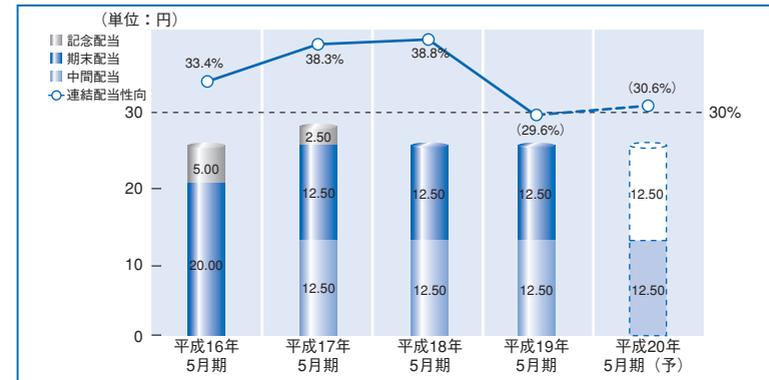
敏拓吉電子（上海）有限公司

（注）大洋電機株式会社および敏拓吉電子（上海）有限公司は、当連結会計年度から連結の範囲に含めております。

●配当状況

平成20年5月期の配当金につきましては、1株につき年間25円（中間配当金12.50円、期末配当金12.50円）を予定しております。

当社では、長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考えており、連結配当性向は30%程度を目安としております。



（注）1.平成16年5月期は、東証・名証二部上場記念配当を行っております。

（注）2.平成17年5月期は、東証・名証一部指定記念配当を行っております。

●当社ホームページのご案内

トップメッセージ、IR情報など、当社の情報満載です。

ホームページアドレス <http://www.mitachi.co.jp>

